

第3回

長野市住宅対策審議会

令和8年1月23日

協議
事項

- (1)市民アンケートの集計結果
- (2)現況分析の更新結果
- (3)今後の予定

協議事項(1)

市民アンケートの集計結果

【資料】市民アンケート速報値 報告資料

1. アンケートの概要

【1-1 調査対象及び調査方法】

調査対象:市内在住の18歳以上の市民

調査件数:5,000件(世帯単位)

抽出方法:住環境の地域性を考慮して市内を6地域に区分し、年代を考慮しながら、住民基本台帳から無作為抽出。

調査方法:郵送による配布・回収(Webによる回答可)

調査期間:令和7年9月24日～10月10日まで

【1-2 回収結果】

令和7年10月末の回収数は2,057件、回収率は41.1%(前回34.0%)となっています。

図表 地域別の配布数・回収数と回答率(令和7年10月末時点)

地区	配布数	回収数	回収率
長野市Ⅰ(第一～第五地区)	483	287	59.4%
長野市Ⅱ(芹田、古牧、三輪、吉田)	1,241	442	35.6%
長野市Ⅲ(古里、柳原、朝陽、大豆島、浅川、若槻、長沼、安茂里、豊野)	1,277	530	41.5%
長野市Ⅳ(篠ノ井、川中島、更北)	1,304	554	42.5%
長野市Ⅴ(松代、若穂)	352	140	39.8%
長野市Ⅵ(茅井、小田切、七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条)	343	92	26.8%
不明・無回答	—	12	—
合計	5,000	2,057	41.1%

1. アンケートの概要

【1-3 設問項目】

設問	調査項目	設問の設定	設問	調査項目	設問の設定
問1	属性	居住地区(12区分)	問14	今後の住まいについて	居住継続意向
問2-1		年齢(年代8区分)	問15-1		住み替え理由
問2-2		家族構成	問15-2		住み替え後の住宅
問3		主な働き手の年代	問15-3		持家を購入する場合の費用の目安
問4		住宅確保要配慮者の有無	問15-4		住み替えに対する不安
問5-1	現在の居住環境について	住宅種別	問15-5	高齢者・障害者に対応した住宅について	住み替え希望場所
問5-2		持ち家のリフォーム実施状況	問16		バリアフリー化
問6		住宅の面積	問17-1		バリアフリー化状況
問7		住宅の建築年	問17-2		バリアフリー改修費用
問8		住宅の構造	問18		老後の住まい
問9	住まいの安心・安全について	住宅の耐震性	問19	子育てしやすい住まい・環境について	子育てを行ううえで、住まいに関して不安に思うこと
問10-1		長野市ハザードマップ・防災マップ等の確認	問20		子育てしやすい環境づくり
問10-2		今後起きうる災害について、不安に思うこと	問21	環境に配慮した住まいについて	環境配慮の取組状況
問11		住宅の防災対策	問22	ご自宅の利活用と周辺の空き家について	空き家に対する感じ方
問12	住まいや住環境に関する評価について	現在の住宅・居住環境の評価(25項目)	問23		自宅の継承
問13			問24		相続登記の義務化
			問25	今後の住まいの確保	今後の住まいの確保について不安に思うこと
			問26	住宅施策	重点的に行うべき住宅施策
			-	自由意見	本市の住宅施策について、意見・要望等

2. 集計結果

【2-1 回答者属性】

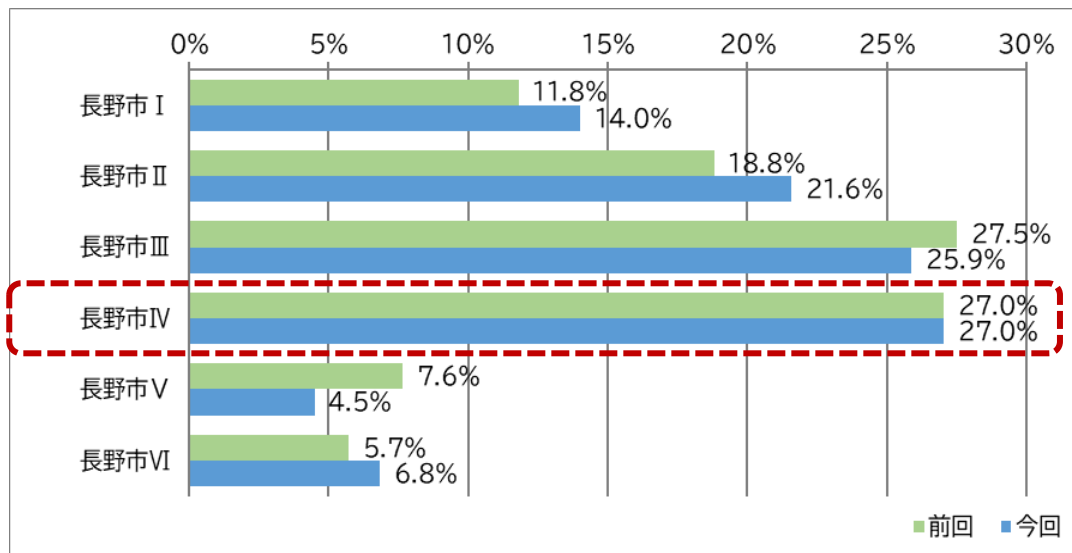
資料1-2 P.1

① 地区 [問1]

・「長野市Ⅳ」が27%と最も多く前回と前回同様の回答割合となっている。

次いで「長野市Ⅲ」が約26%、「長野市Ⅱ」が約22%となっている。

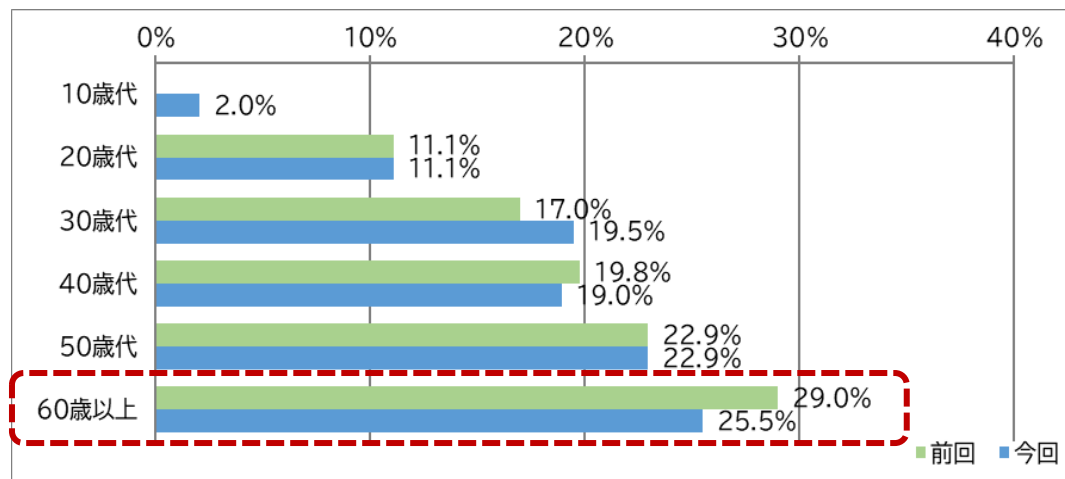
・「長野市Ⅴ」は約5%



② 年代 [問2-1]

・「60歳以上」が約26%と最も多く、次いで「50歳代」が約23%と前回同様の回答割合となっている。

・「10歳代」は2%

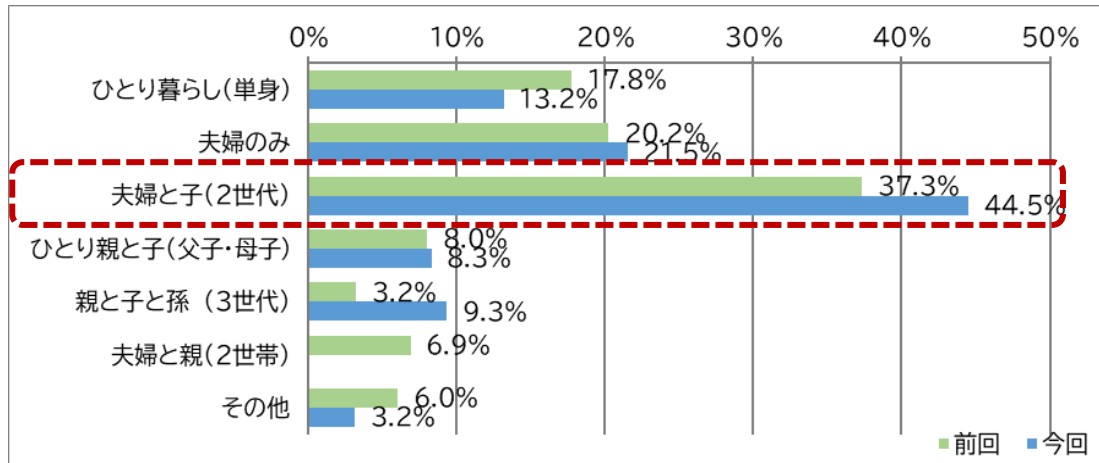


2. 集計結果

資料1-2 P.2

③ 家族構成 [問2-2]

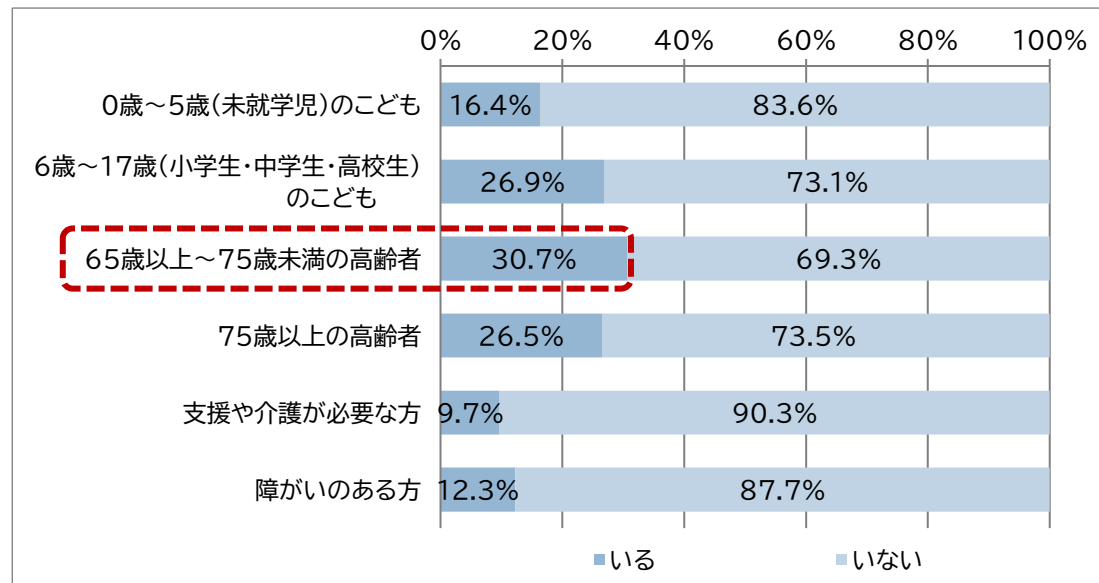
・「夫婦と子(2世代)」が約45%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が約22%となっている。



資料1-2 P.3

④ 同居している家族について [問3]

・「65歳以上～75歳未満の高齢者」が約30%と最も多く、次いで「75歳以上の高齢者」、「6歳～17歳(小学生・中学生・高校生)の子ども」が約27%となっている。



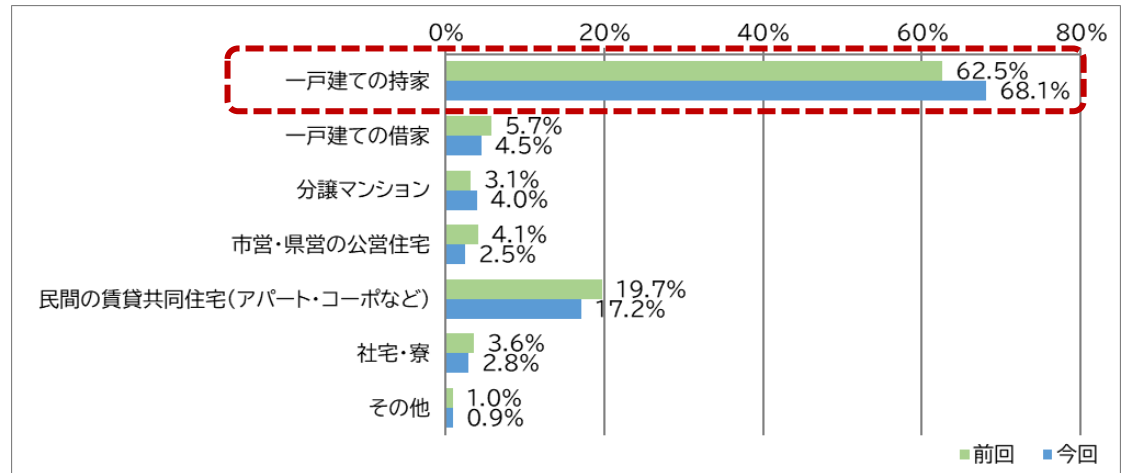
2. 集計結果

【2-2 現在の居住環境について】

資料1-2 P.4

住宅種別 [問5-1]

- ・「一戸建ての持家」が約68%と最も多く、次いで「民間の賃貸共同住宅(アパート・コーポなど)」が約17%となっている。

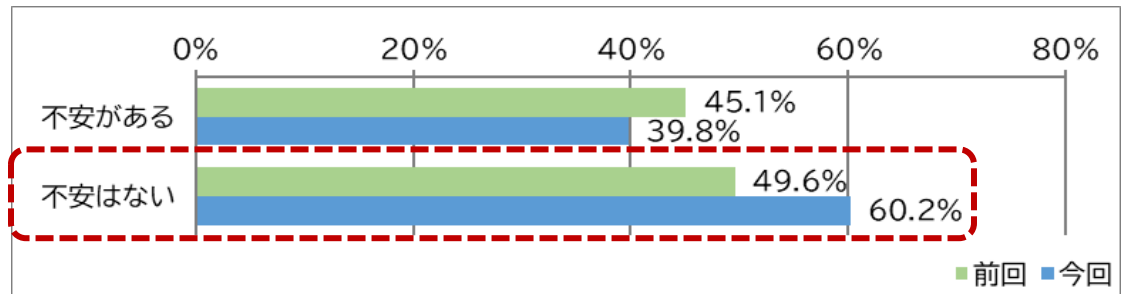


【2-3 住まいの安心・安全について】

資料1-2 P.5

① 住宅の耐震性[問9 A]

- ・「不安はない」が約60%となっており、前回より大きく回答割合が増加している。

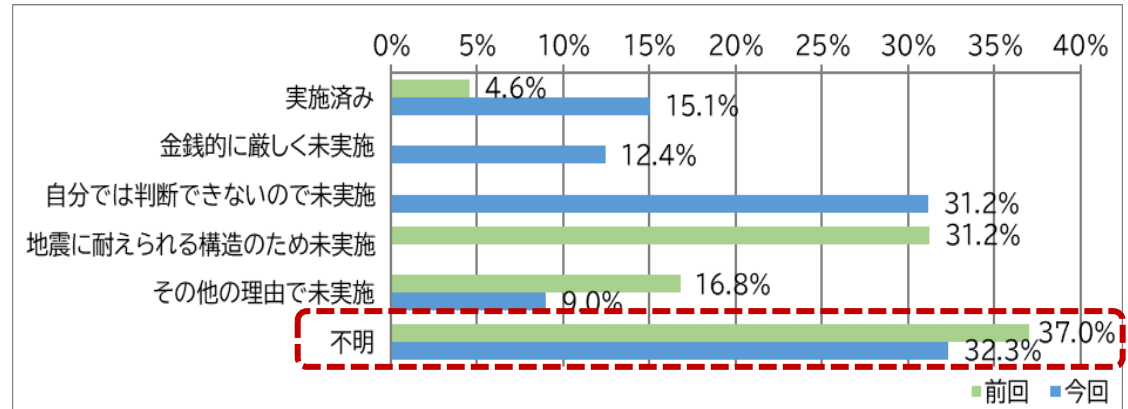


2. 集計結果

資料1-2 P.6

② 耐震改修 [問9 C]

・耐震改修の実施状況については「不明」が約32%と最も多く、次いで「自分では判断できないので未実施」が約31%となっている。

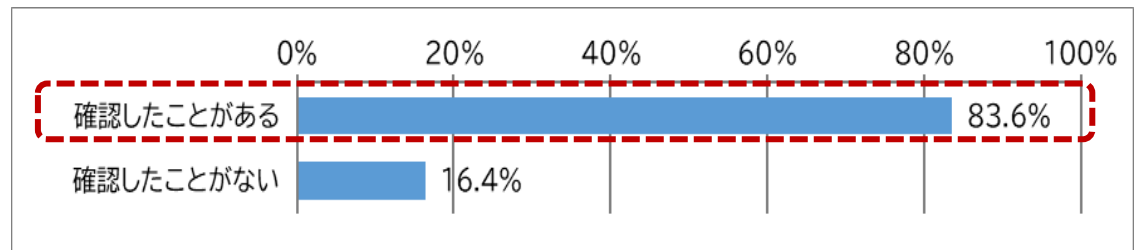


資料1-2 P.7

③ 長野市ハザードマップ・防災マップ等の確認状況

[問10-1]

・「確認したことがある」が約84%となっている。

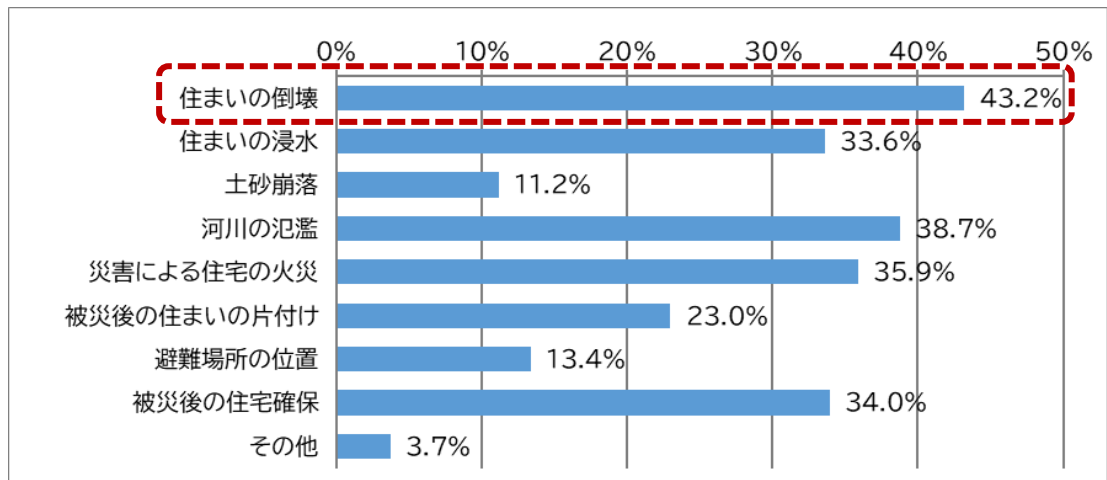


2. 集計結果

資料1-2 P.7

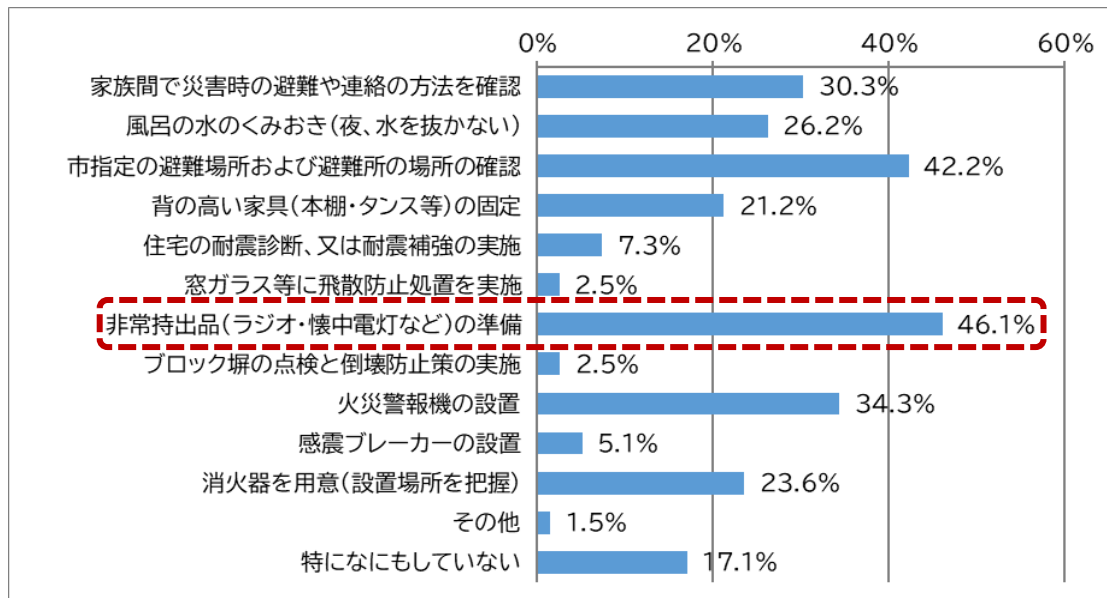
④ 今後起きうる災害について不安に思うこと [問10-2]

・災害に対する不安事項については「住まいの倒壊」が約43%と最も多く、次いで「河川の氾濫」が約39%となっている。



⑤ 家庭での防災対策の実施 [問11]

・家庭で実施している防災対策では「非常持出品(ラジオ・懐中電灯など)の準備」が約46%最も多く、次いで「市指定の避難場所および避難所の場所の確認」が約42%となっている。

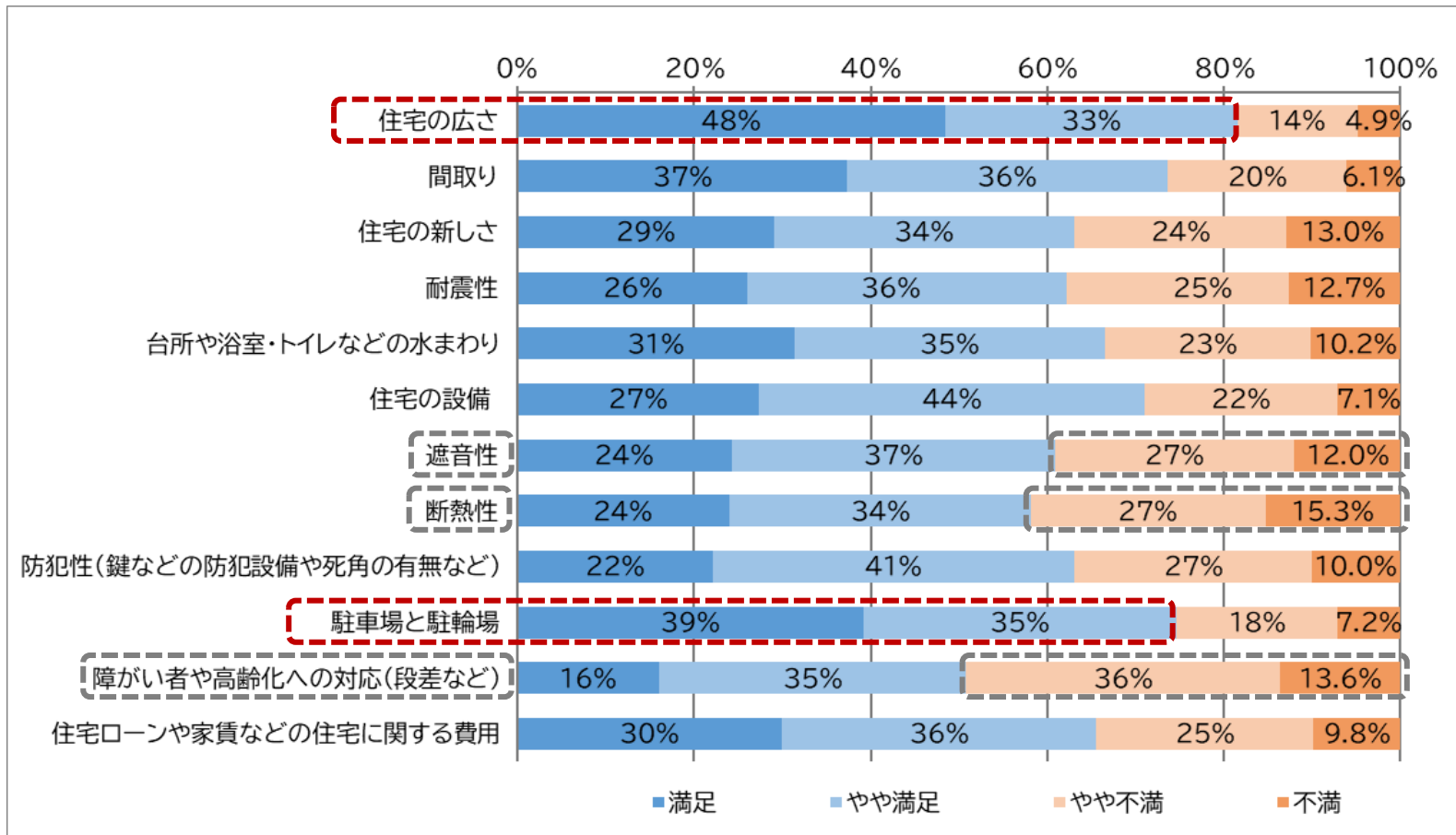


2. 集計結果

【2-4 住まいや住環境に関する評価について】資料1-2 P.8

① 現在の住まいについての満足度[問12]

- ・満足+やや満足 「住宅の広さ」:約80% 「駐車場と駐輪場」:約74%
- ・不満+やや不満 「障がい者や高齢化への対応(段差など)」:約50% 「断熱性」:約42%
「遮音性」:約39%



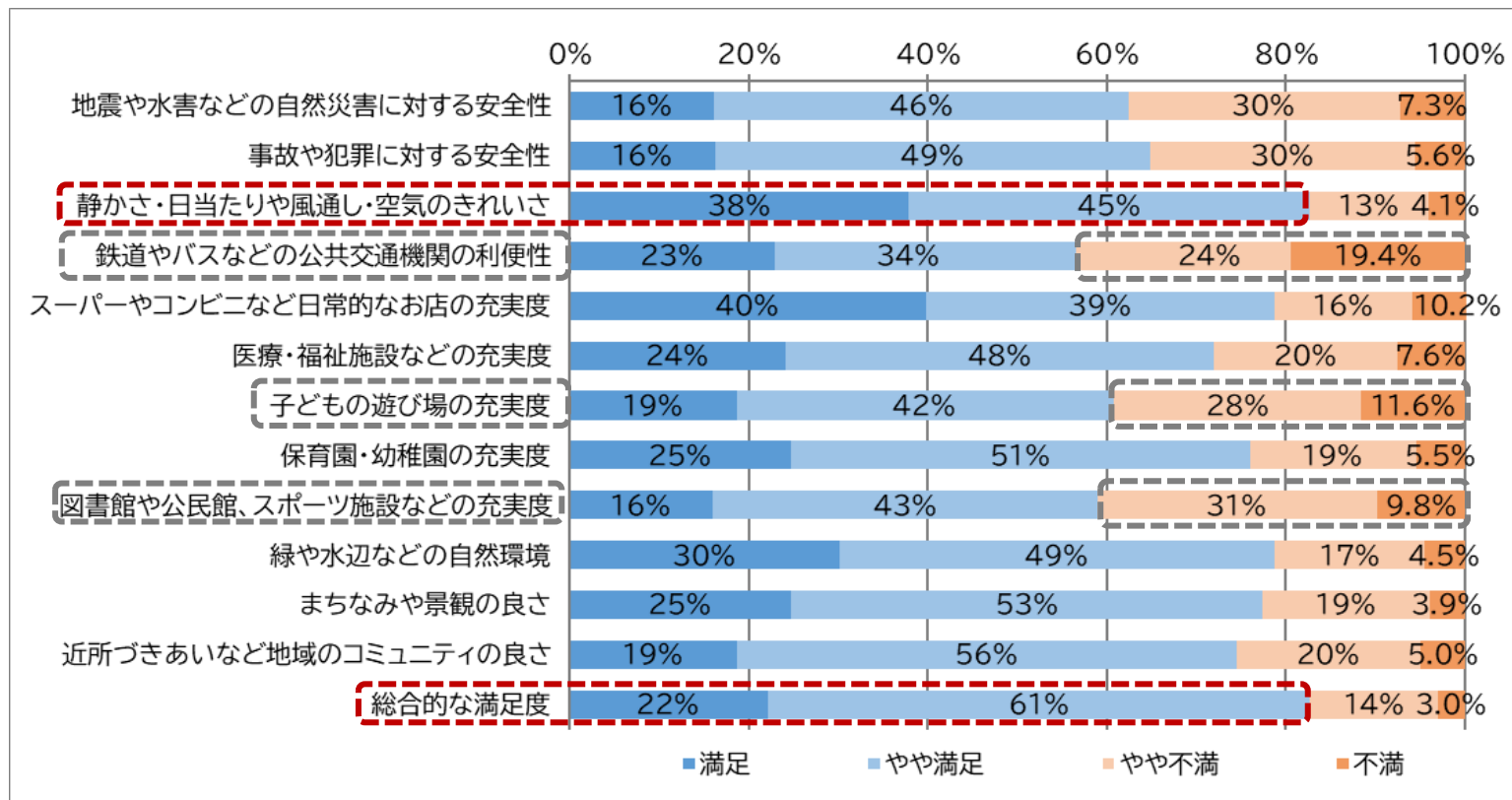
2. 集計結果

資料1-2 P.9

② 居住地域の周辺環境についての満足度[問13]

・満足+やや満足 「静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」、「総合的な満足度」:約83%

・不満+やや不満 「鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」:約43% 「図書館や公民館、スポーツ施設などの充実度」:約41% 「子どもの遊び場の充実度」:
約40%

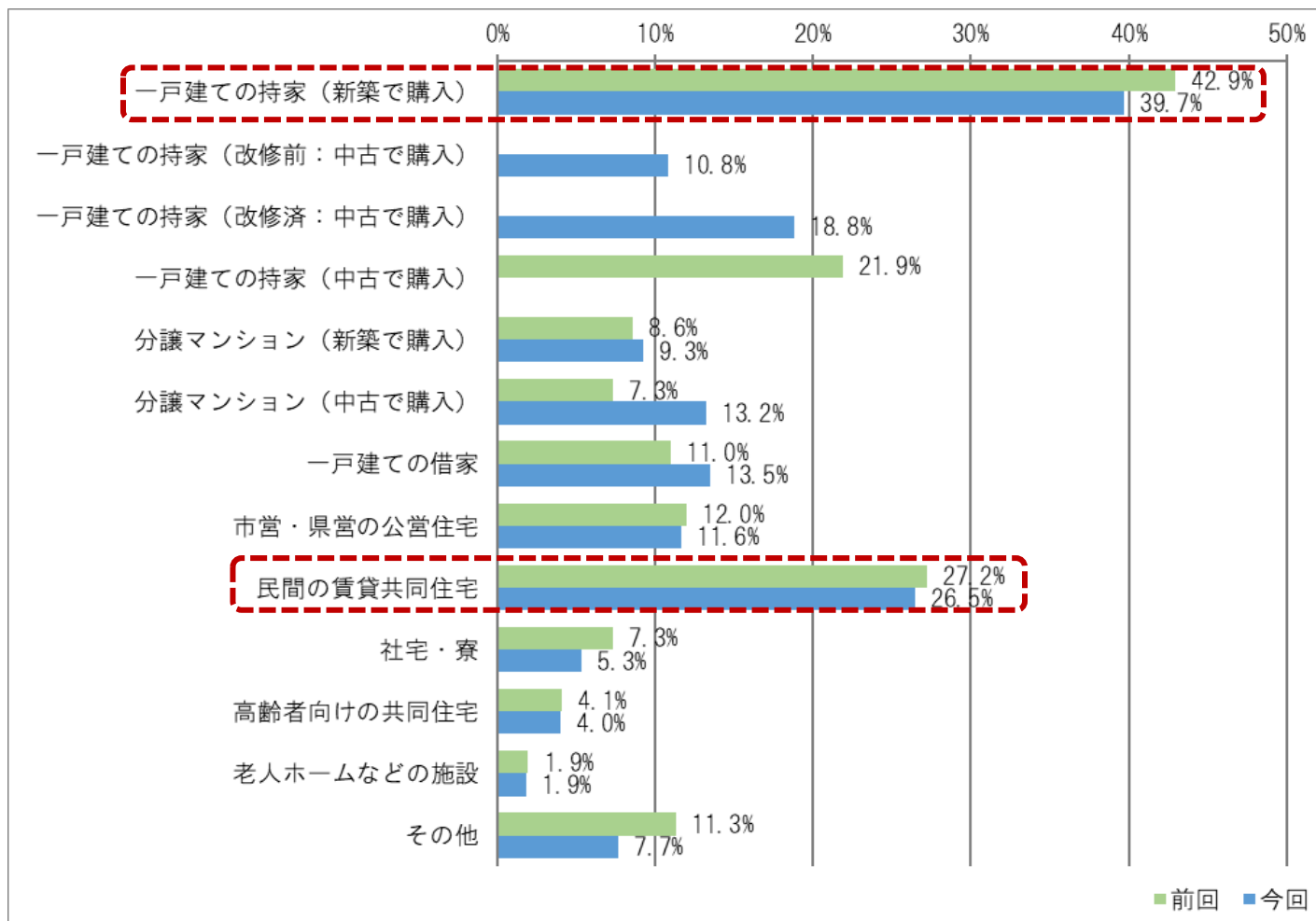


2. 集計結果

【2-5 住替え先の住宅】 資料1-2 P.12

住み替える場合に探す住宅[問15-2]

・「一戸建ての持家(新築で購入)」が約40%と最も多く、次いで「民間の賃貸共同住宅」が約27%となっている。



2. 集計結果

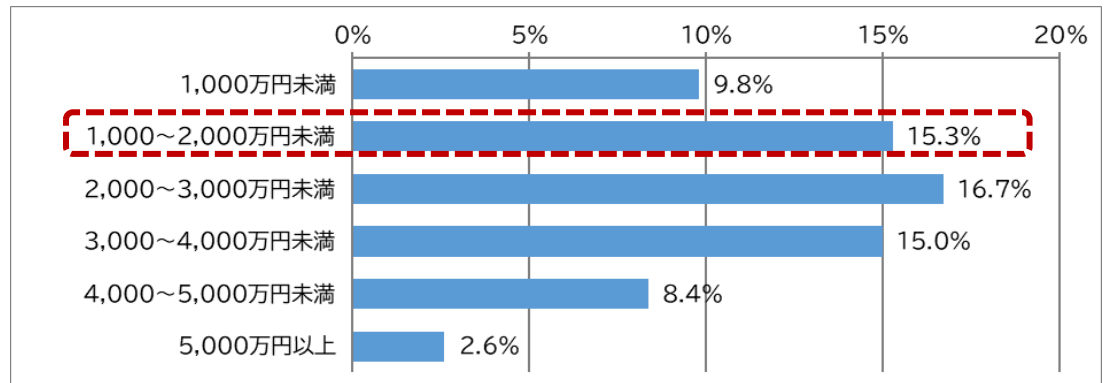
【2-6 今後の住まいについて】

資料1-2 P.13

持家を購入する場合の費用の目安

[問15-3]

・「2,000～3,000万円未満」が約17%と最も多く、次いで「1,000～2,000万円未満」が約15%となっている。

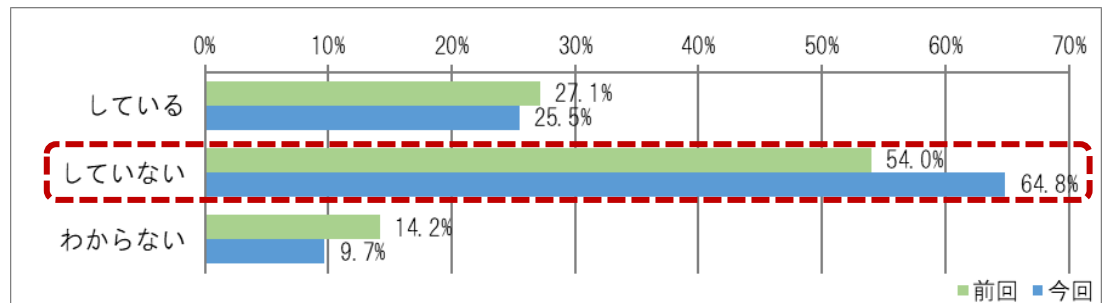


【2-7 高齢者・障害者に対応した住宅について】

資料1-2 P.14

バリアフリー化[問16]

・現在、住んでいる住宅のバリアフリー化(改修も含む)については「していない」が約65%と最も多く、前回計画よりも回答割合が増加している。



2. 集計結果

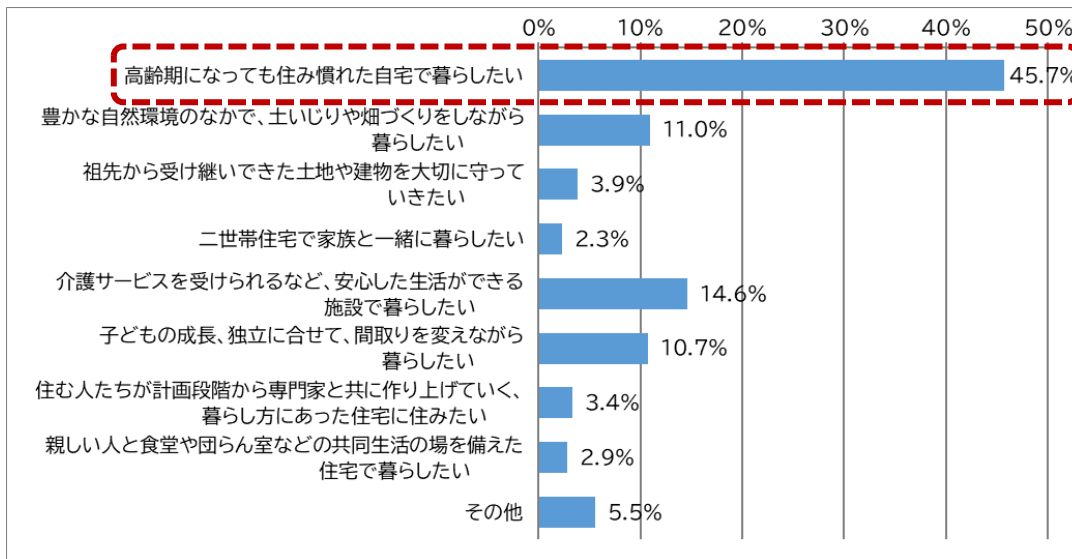
資料1-2 P.15

【2-8 老後の暮らし方について】

希望する高齢時の暮らし方

【問18】

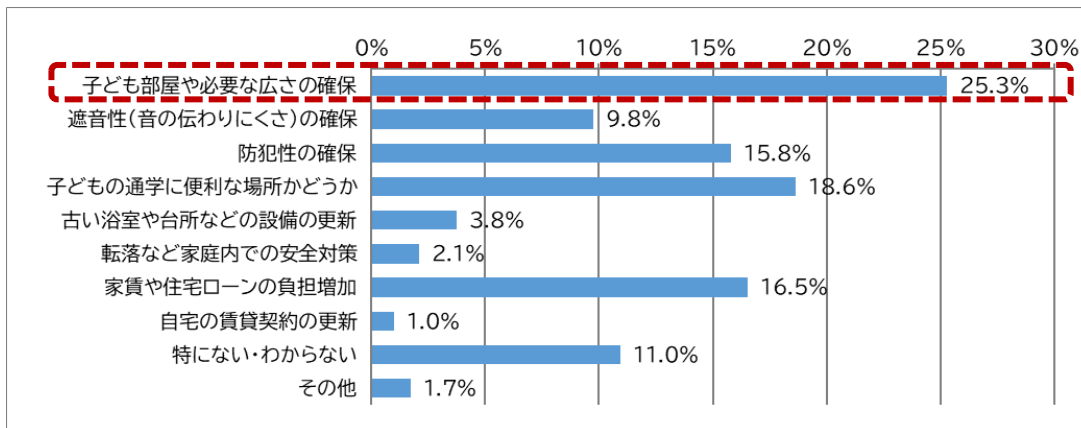
- ・「高齢期になっても住み慣れた自宅で暮らしたい」が約46%と最も多くなっている。



【2-9 子育てを行ううえで、住まいに関して不安に思うこと】

子育て期の住まいに関する不安【問19】

- ・「子ども部屋や必要な広さの確保」が約25%と最も多く、次いで「子どもの通学に便利な場所かどうか」が約19%となっている。



2. 集計結果

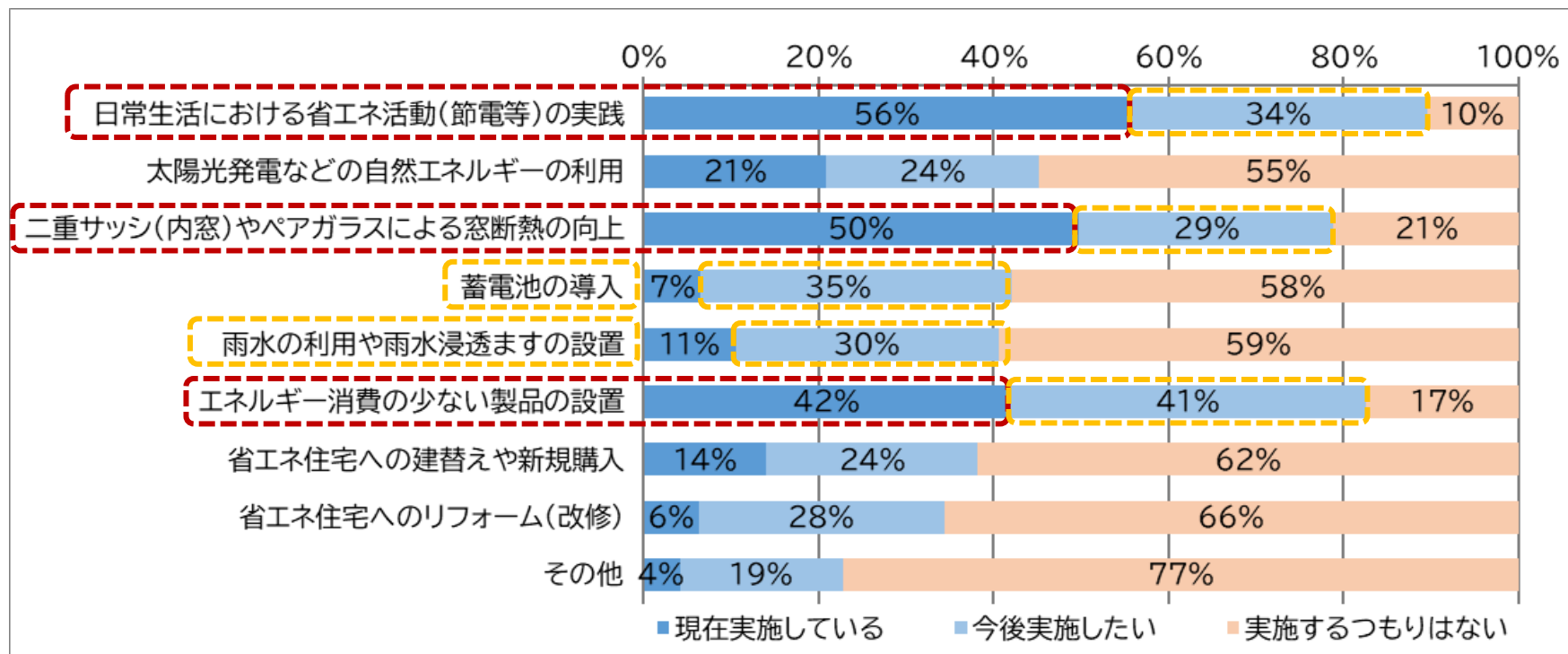
【2-10 環境に配慮した住まい方について】

資料1-2 P.17

家庭で行っている環境に配慮した取組 [問21]

・「日常生活における省エネ活動(節電等)の実践」が約56%と最も多く、次いで「二重サッシ(内窓)やペアガラスによる窓断熱の向上」が約50%、「エネルギー消費の少ない製品の設置」が約42%となっている。

また、今後実施したい意向についても、同様の項目と「蓄電池の購入」、「雨水の利用や雨水浸透ますの設置」で、約30%以上となっている。



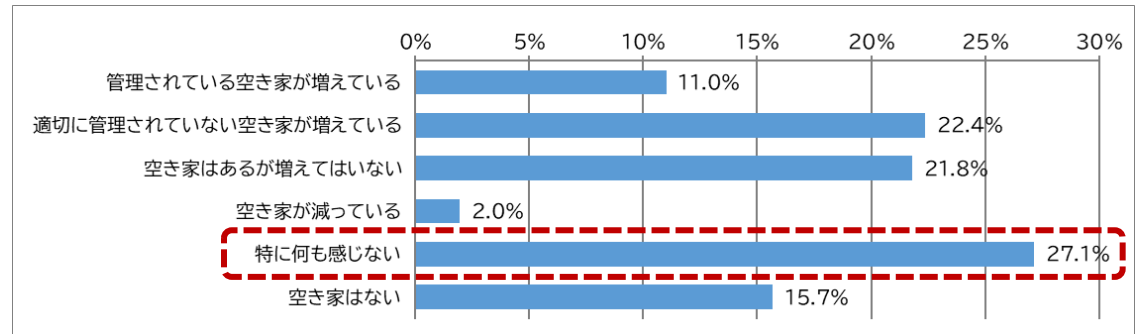
2. 集計結果

【2-11 周辺の空き家と自宅について】

資料1-2 P.18

① 空き家の状況 [問22]

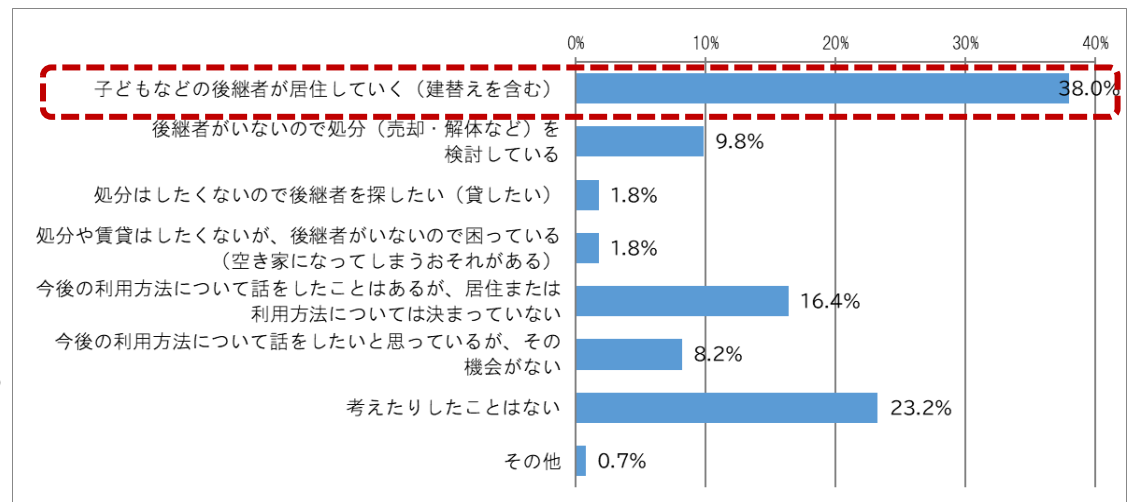
- ・「特に何も感じない」が約27%と最も多く、次いで「適切に管理されていない空き家が増えている」が約22%となっている。



② 自宅の今後について

[問23]

- ・「子どもなどの後継者が居住していく(建替えを含む)」が約38%と最も多く、次いで「考えたりしたことはない」が約23%となっている。



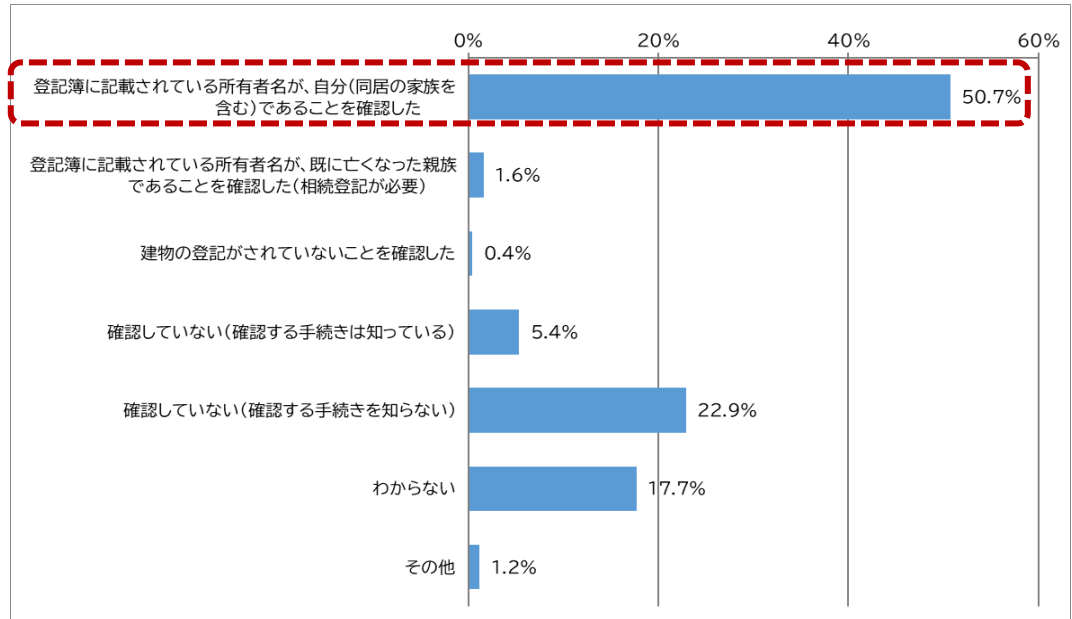
2. 集計結果

資料1-2 P.19

③ 相続登記の義務化について

[問24]

・「登記簿に記載されている所有者名が、自分(同居の家族を含む)であることを確認した」が約50%と最も多くなっている。

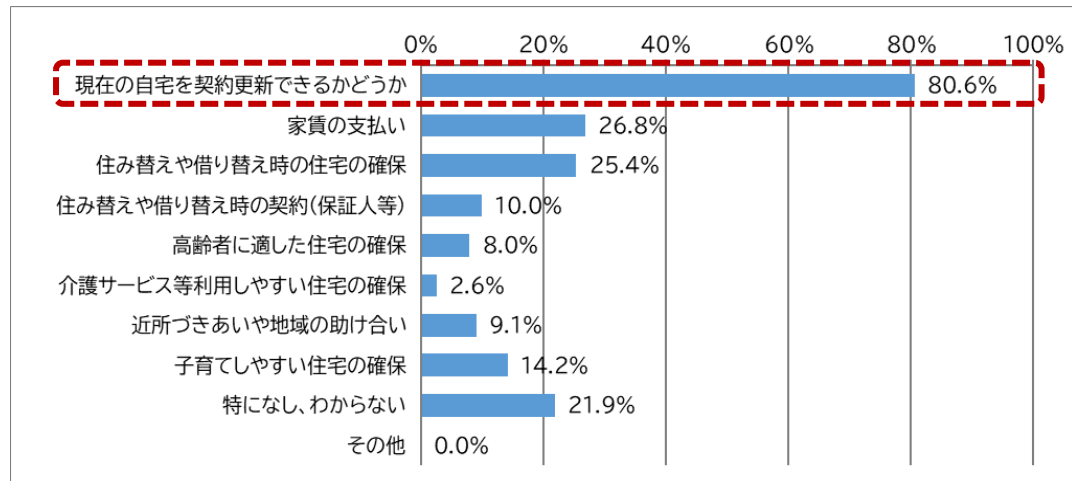


資料1-2 P.20

④ 今後の住まいの確保について

[問25]

・自宅が借家(アパート等)にお住まいの方の回答の中で、「現在の自宅を契約更新できるかどうか」が約81%と最も多く、次いで「家賃の支払い」が約27%となっている。

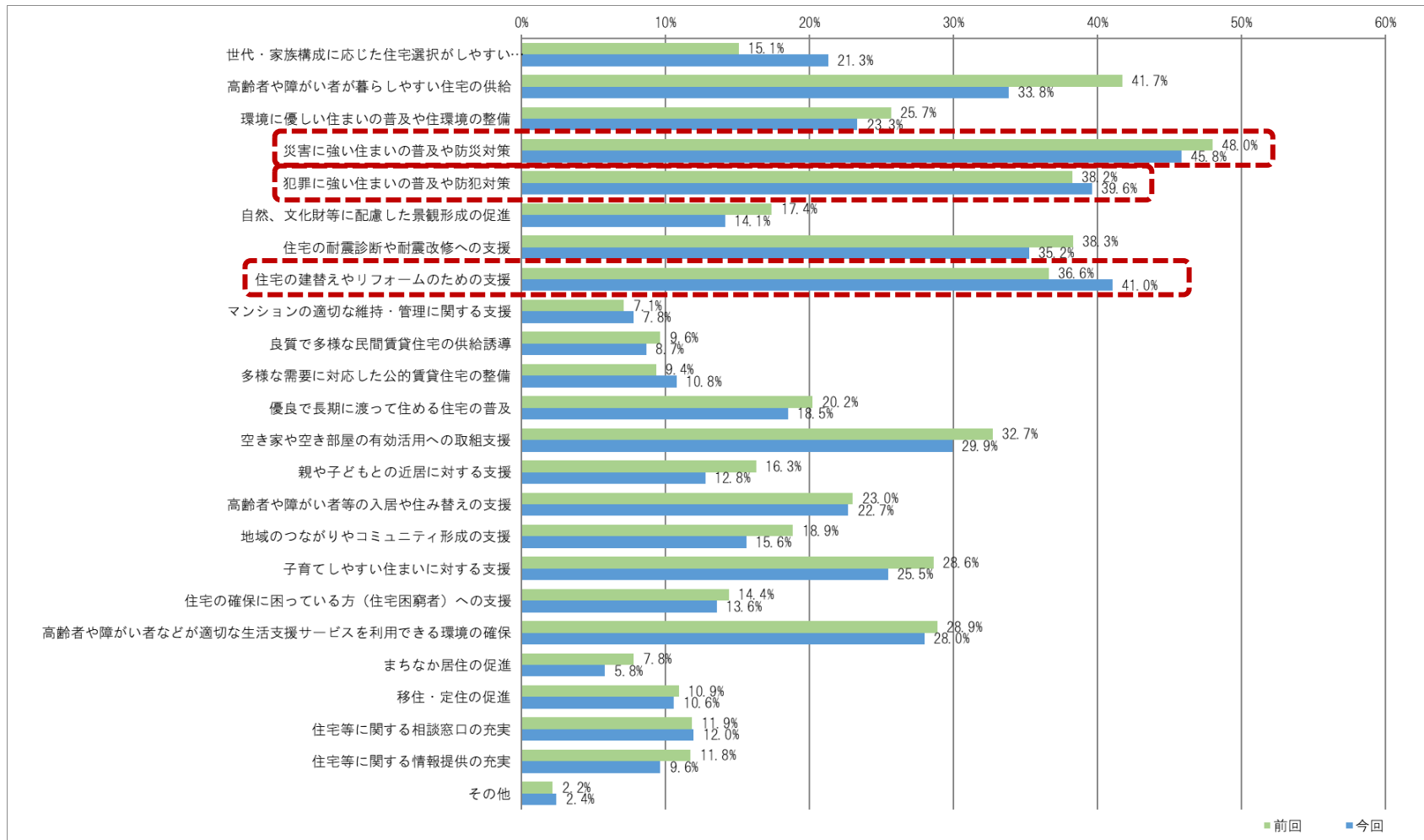


2. 集計結果

【2-12 住宅施策について】資料1-2 P.21

住宅施策に関して市に期待すること[問26]

- ・「災害に強い住まいの普及や防災対策」:約46%、「住宅の建替えやリフォームのための支援」:約41%、「犯罪に強い住まいの普及や防災対策」:約40%



協議事項(2)

(2)現況分析の更新結果

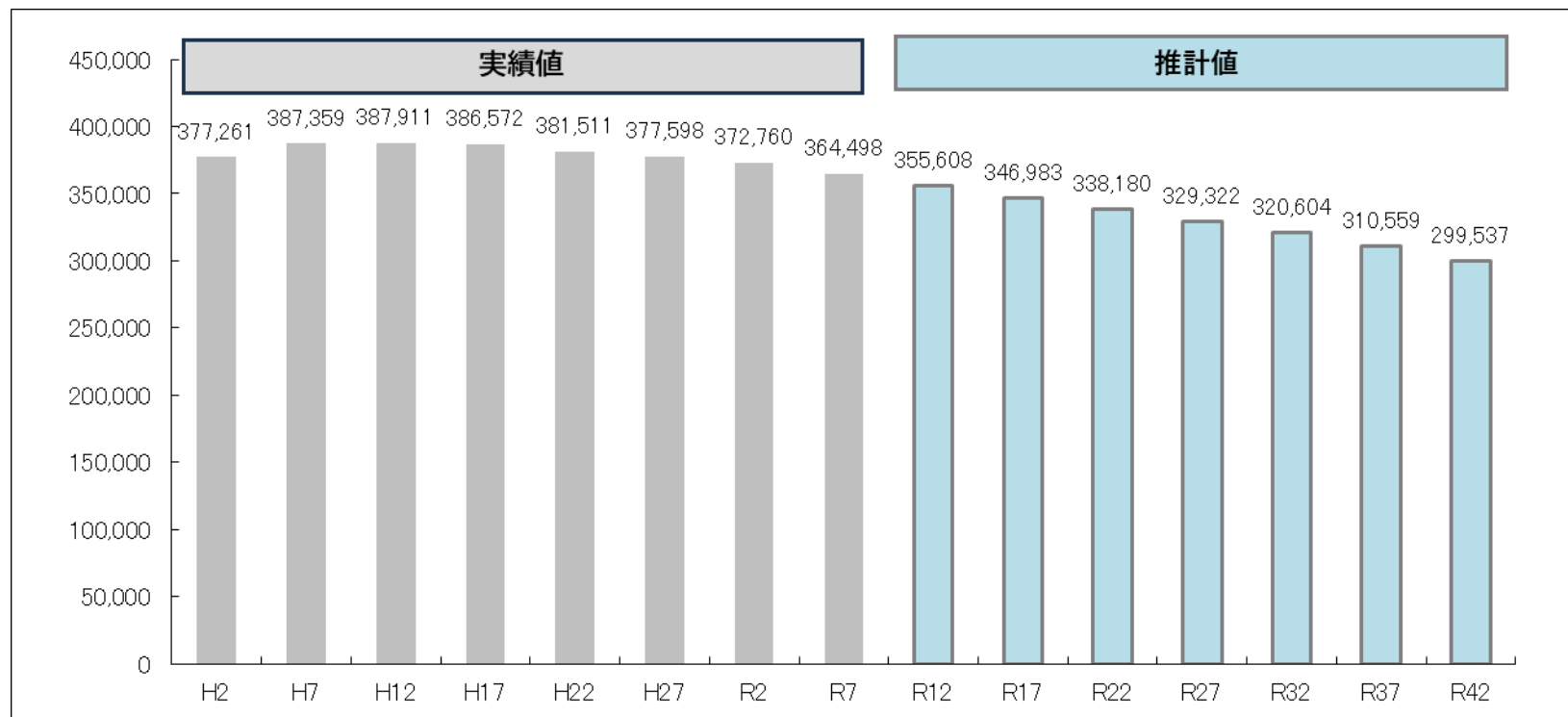
【スライドにて報告】

1. 長野市の現況分析

【1-1 将来人口推計】

- ・平成12年には約39万人と人口のピークを迎え、その後、令和7年には2万3千人近く減り、約36万人となった。
- ・人口推計値によると、人口は減少していく見込みで、令和42年には約30万人になる見込み。

人口の推移と推計値



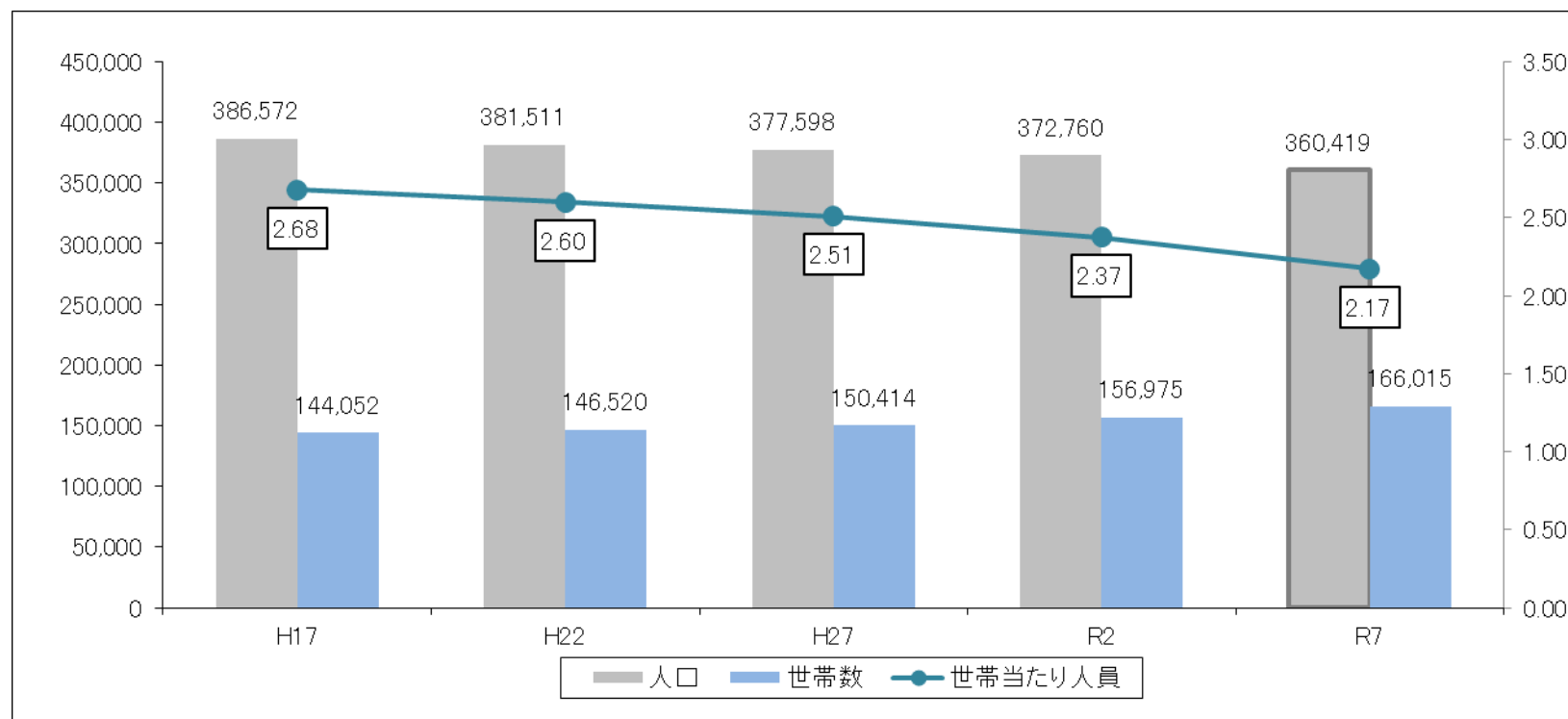
資料)国勢調査各年、長野市人口ビジョンR7.4

1. 長野市の現況分析

【1-2 人口と世帯数の推移】

- ・世帯数は一貫して増加傾向にあり、令和7年現在、約16万6千世帯となっている。
- ・世帯当たり人員は平成17年に1世帯当たり2.68人であったが、令和7年には約0.5人減少した1世帯当たり2.17人となっており、1世帯当たり人員の縮小が進んでいる。

人口と世帯数の推移



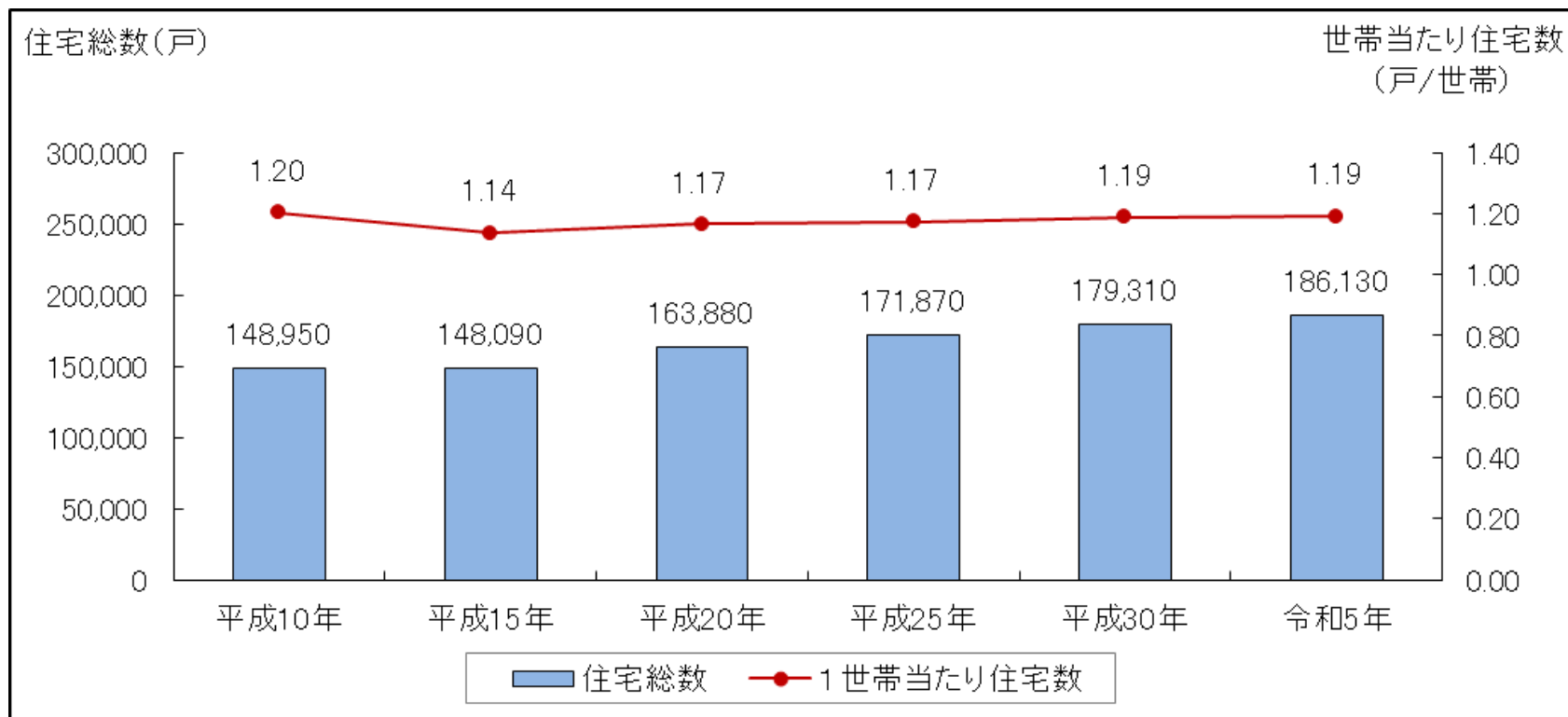
資料)国勢調査各年、長野市人口ビジョンR7.4

2. 長野市の住宅事情

【2-1 住宅総数の推移】

- ・市内における住宅総数は増加を続け、令和5年には186,130戸となり、5年前の平成30年からは6,820戸、約3.7%増加している。
- ・令和5年の1世帯当たりの住宅数は1.19戸/世帯となっており、平成10年よりほぼ横ばいで推移している。

住宅総数の推移



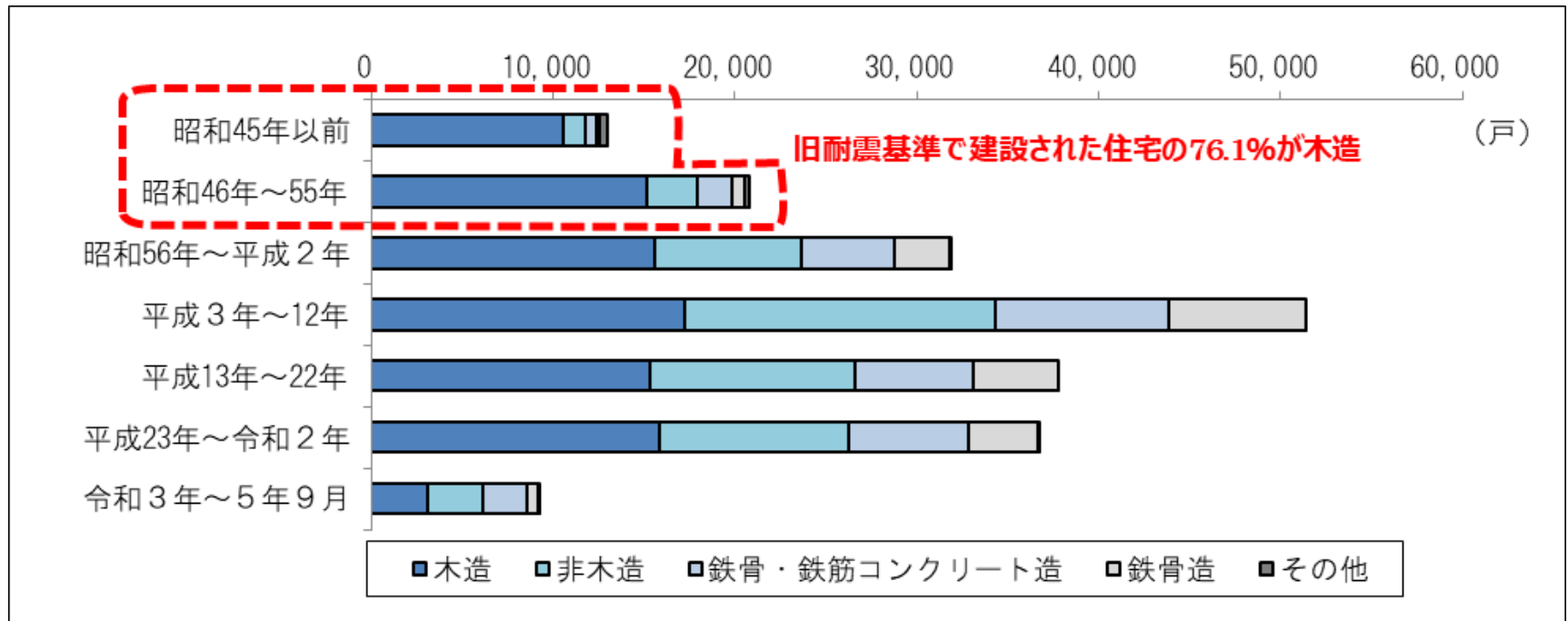
資料)住宅・土地統計調査

2. 長野市の住宅事情

【2-2 住宅の構造と建築時期】

- ・「昭和45年以前」の住宅と、「昭和46年～昭和55年」の住宅を合わせると、昭和55年以前に建築された(耐震性など老朽度リスクが危惧される)住宅は29,600戸となり、住宅の建築時期が分かる住宅戸数146,520戸の約20%を占めている。
- ・旧耐震基準で建築された住宅の76.1%は木造住宅であり、築40年を経過していることもあり、耐震性だけでなく老朽化も懸念される。

住宅の構造別の建築時期



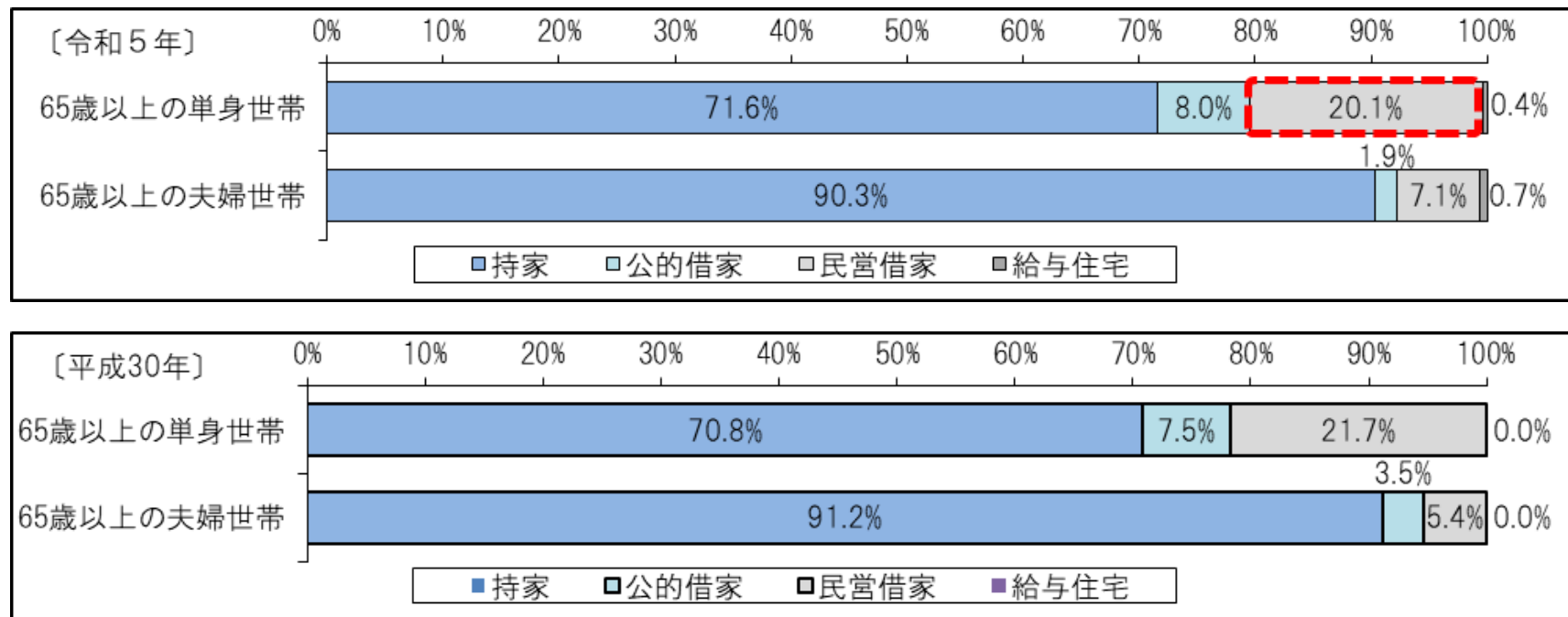
資料)R5住宅・土地統計調査

2. 長野市の住宅事情

【2-3 高齢者世帯の居住】

- ・本市では、令和5年時点で、65歳以上の単身世帯(高齢単身世帯)の約20%が民営借家に居住している。
- ・65歳以上の夫婦世帯(高齢夫婦世帯)は、持家への居住が約9割を超えている。

住宅種別の居住状況



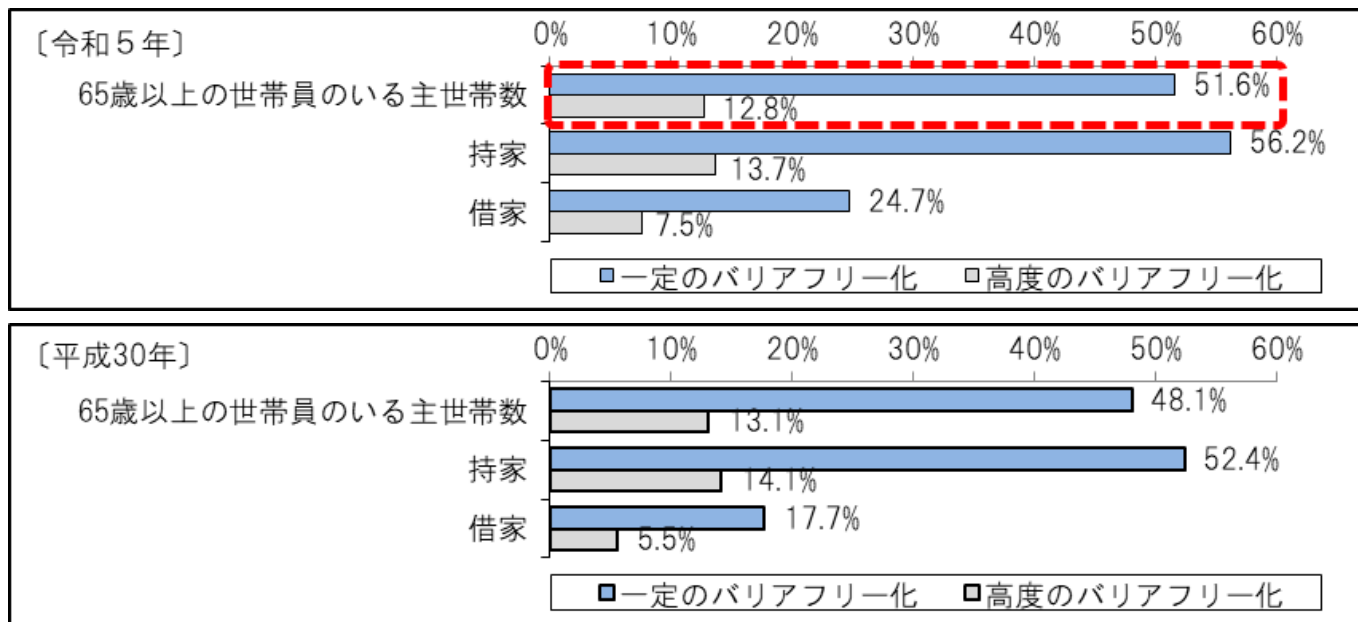
2. 長野市の住宅事情

【2-4 バリアフリー※化状況】

・高齢者(65歳以上の世帯員)がいる世帯のバリアフリー化状況は、一定のバリアフリー化※1がされている住宅は約51%、高度なバリアフリー化※2がされている住宅は約13%となっている。

・持家と借家で比較すると、一定のバリアフリー化の割合と高度なバリアフリー化の割合ともに持家が借家より高い水準となっている。

高齢者がいる世帯のバリアフリー化状況



資料)住宅・土地統計調査

※1「一定のバリアフリー化」とは、自立生活を前提に「手すりの設置(2箇所以上)」又は「段差のない屋内」を満たす住宅

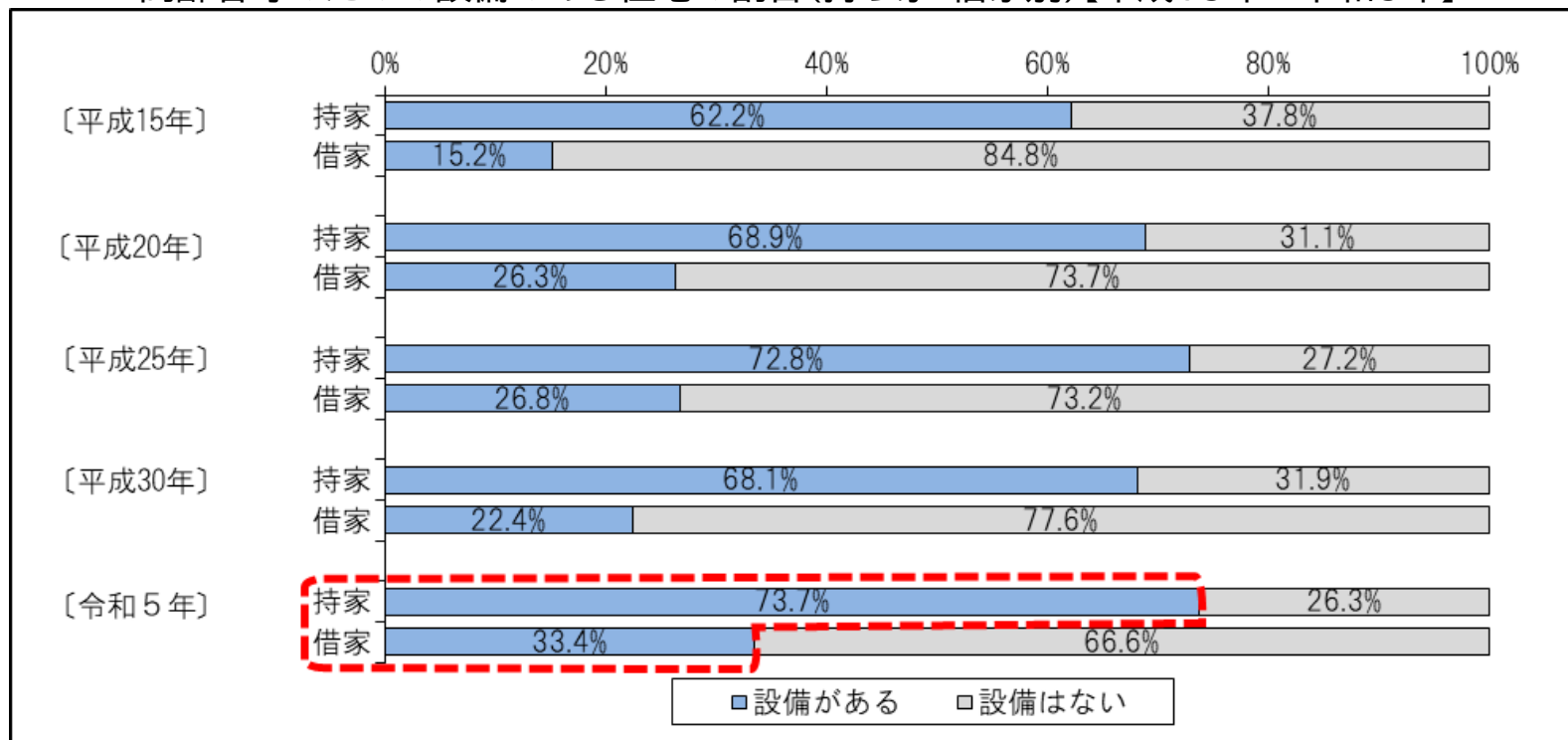
※2「高度のバリアフリー化」とは、介助が必要な状況を想定し「手すりの設置(2箇所以上)」「段差のない屋内」「車いすが通行可能な廊下等の幅」の全てを満たす住宅

2. 長野市の住宅事情

【2-5 高齢者等のための設備】

- ・令和5年では、高齢者等のための設備を備える住宅の割合は、持家は約74%、借家は約33%となっている。
- ・平成15年からの推移をみると、持家は設備がある住宅が徐々に増加しているが、平成30年でわずかに減少となっている。
- ・借家は低い水準で推移している。

高齢者等のための設備のある住宅の割合(持ち家・借家別)【平成15年～令和5年】

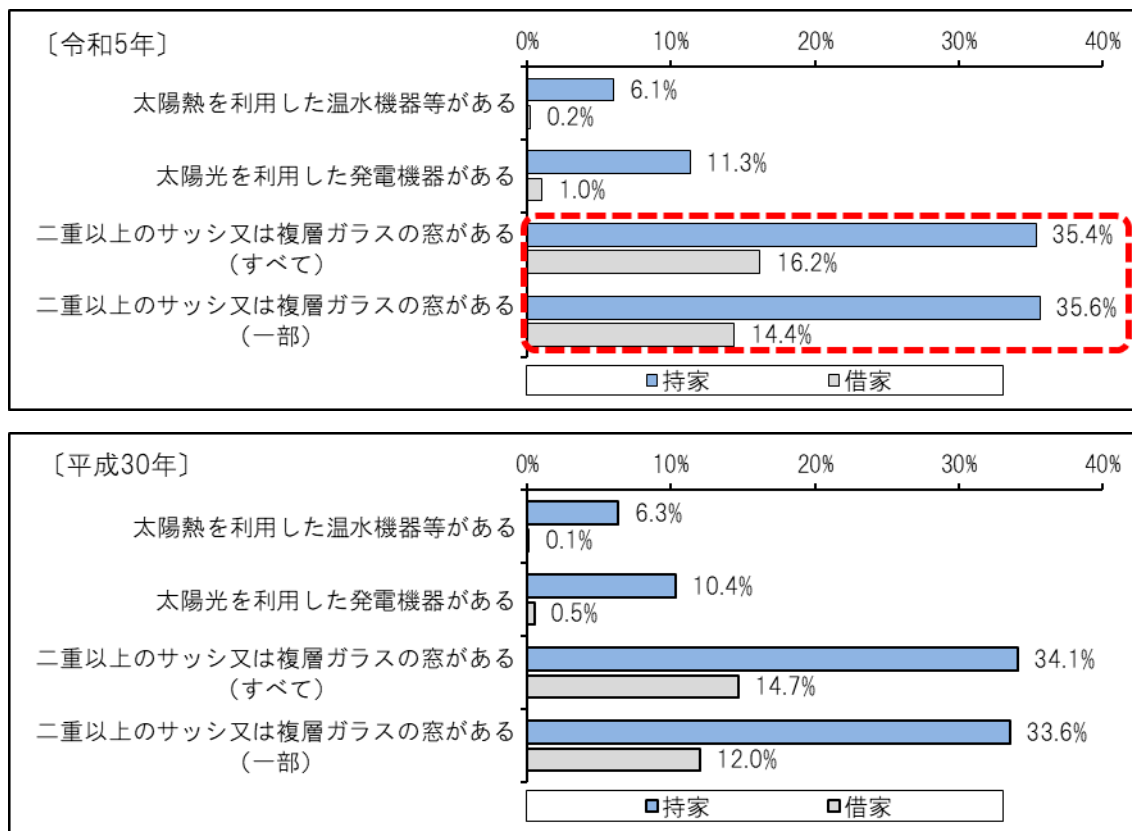


2. 長野市の住宅事情

【2-6 省エネルギー設備を備えた住宅】

- ・令和5年の住宅への省エネルギー設備等の設置状況は、持家、借家共に低くなっている。
- ・「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓」についても、持家では4割弱、借家は2割弱の設置にとどまっている。

省エネルギー設備の設置状況



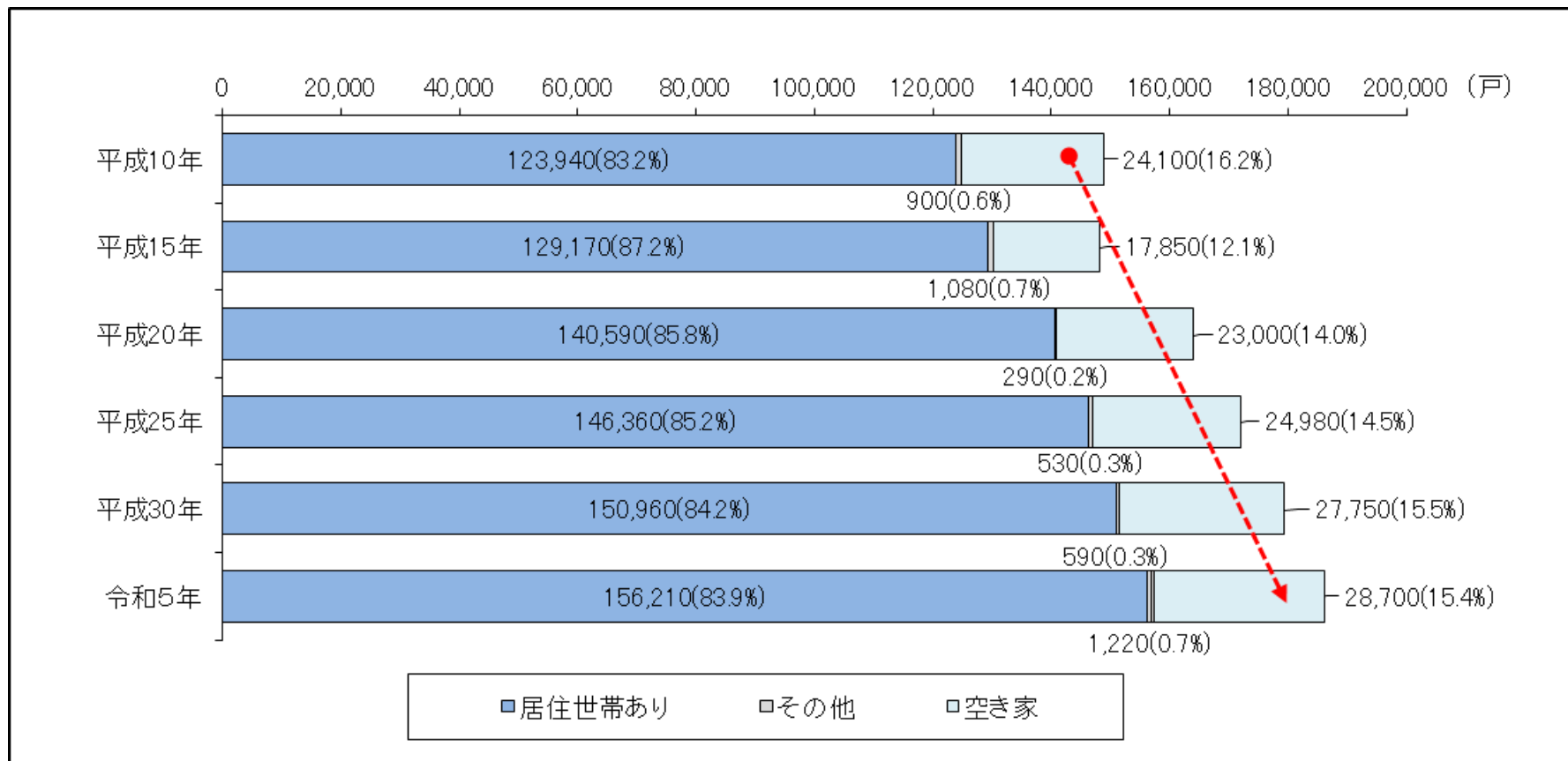
資料)住宅・土地統計調査

2. 長野市の住宅事情

【2-7 空き家の状況】

- ・市内の空き家数は年々増加し、令和5年の空き家数は28,700戸、空き家率は15.4%となっている。

空き家の推移



資料)R5住宅・土地統計調査

協議事項(3)

今後の予定

スケジュール

